

標準ガス

NIST対応証書刷新

高千穂化学、輸出も強化

高千穂化学工業は、海外展開する顧客への利便性を高め、販路拡大を図る。昨年に標準ガスの国際相互承認協定「MRA」の認定を得たのに続き、国際トレーサビリティ

をさらに手厚くするべく、米国立標準技術研究所(NIST)のトレーサビリティに従来対応していた証書のさらなる整備を進めている。来年度をめどに新書式の提

担っている。NISTは工業規格などの標準化を行う機関。大気汚染や自動車排ガス汚染などにかかわる成分濃度計測に使用する米国基準の標準ガスの認証も

自動車や農業機械のエンジンなどを米国に輸出する際は、米環境保護庁(EPA)の厳格な排ガス規制をクリアする必要がある。NISTとのトレーサビリティがある標準ガスに基づく製品試験による開発が求められる。メーカーのなかには、米国とその他で認証を得るために複数のラボを有するところもある。

NISTとのトレーサビリティがある標準ガスを常時取り揃えている高千穂化学工業は、NISTから公式ロゴの使用許可を取得し、MRA認定と合わせて新たな証書を作成する。容器番号などNISTの情報や同社で扱う標準ガスの不確かさ、機器の校正時期などを掲載し、EPAの規定に厳密に準拠したものである。

世界的に自国の産業保護が加速し、高度化してきている貿易障壁に対応する。同社の強みは日本の標準ガスで複数の認証書を提供できる点。これにより利用者は日本で各国の認証に対応可能となり、結果としてラボへの設備投資も抑えられる。同社では前倒しで企業への啓蒙活動を始め考え、標準ガスの輸出も加速する。インドネシアで昨年、産業ガスや鉄鋼事業を展開するTirasteni社と総代理店契約を締結。同社のストックポイントを活用した在庫販売を開始した。有効期限が短いものは日本から迅速な受注生産で対応する。

日系照明メーカーの誘いもあり、事業拡大を決めた。ティラ社は過去にエアプロダクツの一部を買収した経緯があり、産業ガスのノウハウを有し、経営のクリーンさもあり、パートナーに選んだ。日系の二輪車や四輪車メーカーが多い同国では、排ガステストに高千穂化学工業の標準ガスを推奨する日系メーカーの分析計が多く使われており、一定の需要が見込める。石油化学などの工場や発電所での研究開発、分析用途もターゲットとする。